

国際P2M学会 2021年度 春季研究発表大会プログラム(Web開催)

2021年4月18日(日) 開催校: 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
大会テーマ: 「超VUCA時代の社会変革とプログラムマネジメント」

一般公開用
各種URLは参加登録者
のみお知らせしています

大会予稿集
質疑応答表

大会参加者に別途通知

研究発表の部(オンデマンド配信): 4月18日~5月17日(質疑入力は4月27日、返答は5月2日まで)						
NO.	分類	発表者	連名者	タイトル	発表動画URL 5月17日まで配信	座長
1	企画R&D	山本 秀男		デジタル経済環境における技術開発プログラムマネジメントの考察	大会参加者に 別途通知	和田 義明
2	企画R&D	重藤 さわ子		事業構想とプログラムマネジメント 事業構想大学院大学の実践を踏まえた一考察		和田 義明
3	企画R&D	関口 幸治	岡田公治	ビジネスエコシステムを考慮したビジネスモデル変革方法論の研究 —ビジネスエコシステムにおけるビジネス境界面分析手法の提案—		和田 義明
4	企画R&D	新保 利弘	西村秀和	化学企業の生産性向上のためのシステムアーキテクチャ定義		久保 裕史
5	企画R&D	木村 富也	中野冠	見える化手法を用いた製品間接コスト改善における組織間コミュニケーション形成モデルの事例研究		久保 裕史
6	企画R&D	貴島 文緒	高野研一、当麻哲哉	情報通信業と製造業で働くITエンジニアの転職希望意識について		久保 裕史
7	人材育成	玉木 欽也	新目真紀、鄭周華	P2Mを適用したプロジェクト型学習とアクティブラーニングを融合したオンライン・グループワーク演習方法の実証と今後の研究課題		小笠原 秀人
8	人材育成	富田 欣和		高等学校における入学志願者増加策立案のためのフレームワークの構築		小笠原 秀人
9	人材育成	橋本 雄大	田隈広紀	ナッジ型フレームワークを用いた著作権侵害防止の意識向上手法の提案		小笠原 秀人
10	人材育成	渡辺 今日子	俵谷俊彦、富田欣和、白坂成功	高校生参加型プロジェクトによる部活動問題解決に向けたフレームワークの構築		佐藤 達男
11	人材育成	新目 真紀	玉木 欽也	P2Mを適用したプロジェクト型学習におけるアダプティブラーニング環境の有効性に関する考察		佐藤 達男
12	人材育成	畠山 千東路	倉斗綾子	デザイン系学生が行うPBLにおけるプロジェクト達成の意味と学生の役割に関する考察 感性的要素に着目した事例調査と分析		玉木 欽也
13	人材育成	細川 元	赤澤智津子、西田絢子	デザイン教育におけるPBLでの効果的な学習に関する試行的研究 —ルーブリックを用いた評価プロセスが学習効果に与える影響—		玉木 欽也
14	社会	谷口 邦彦		SDGs実現に向けた地方自治体の政策に関する考察 ～個々人の行動変容を促進する懸け橋機能の視点から～		沖浦 文彦
15	社会	市田 明子	当麻哲哉、高野研一	公務職場における人を活かすマネジメント		沖浦 文彦
16	社会	近藤 卓	風見正三	P2M理論を用いたまちづくりにおけるプロファイリングマネジメントのモデル検証 ～被災地復興事業における小学校の統廃合移転を事例として～		沖浦 文彦
17	社会	東海林 伸篤	風見正三	地域活性化に資する官民連携事業のプログラムマネジャーの役割		田隈 広紀
18	社会	味元 怜瑳	倉斗綾子	自発的住民活動におけるプラットフォームの役割と個々人の活動意欲の関係性に関する考察		田隈 広紀
19	社会	山本 百合子	永井祐二、岡田久典、山崎晃	P2Mフレームワークを適用した民間環境助成のマネジメント手法について SDGs時代の環境活動事例の考察		中村 明
20	社会	永井 祐二	中野健太郎、大久保敏宏、小山田大和	地域循環共生圏構築におけるP2M ～木質バイオマス活用計画を事例として～		中村 明
21	社会	沖浦 文彦		社会構造変革の取組みにおけるP2Mの役割と理論拡張の方向性 「スーパースィティ構想」による都市構造変革の取組みに関する検討		中村 明

午後の部(ライブ配信): 4月18日13:00~17:50	
Zoomミーティング参加へのURL(12:40から入室可能)	
大会参加者に別途通知	
13:00 - 13:30	総会(学会員のみ)
13:30 - 13:40	休憩
13:40 - 14:00	開会挨拶 山本秀男 氏(国際P2M学会会長) 開催校挨拶 当麻哲哉 氏(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授)
14:00 - 14:50	基調講演1「デジタル時代のアジャイル・ガバナンスのすすめ」 須賀千鶴 氏(世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター長)
14:50 - 15:40	基調講演2「DXのドライバーは何なのか」 福田讓 氏(富士通株式会社執行役員常務CIO兼CDXO補佐)
15:40 - 16:00	休憩
16:00 - 17:45	パネルディスカッション「超VUCA時代の社会変革とプログラムマネジメント」 モデレータ: 当麻哲哉 氏(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科) パネリスト(順不同): 沼尻祐未 氏(経済産業省商務情報政策局情報経済課アーキテクチャ戦略企画室室長補佐) 深堀 昂 氏(アバターイン株式会社代表取締役CEO) 佐藤達男 氏(広島修道大学経済科学部教授) 白坂成功 氏(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授)
17:45 - 17:50	閉会挨拶 亀山秀雄 氏(国際P2M学会副会長)